



平成30年度

夏休みの作品募集

富士市立富士中央小学校
作品は8月27日(月)提出

部門	応募名	テーマ	内容や注意することなど	参加賞
国語	読書感想文コンクール (富士市教育員会) 	○子どもが本に親しむ機会をつくり、読書の楽しさ、すばらしさを体験し、読書の習慣化を図る。 ○より深く読書し、読書の感動を文章に表現することを通して、豊かな人間性や考える力を育む。更に自分の考えを正しい日本語で表現する力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校低学年の部(1、2年生)700～800字 <ul style="list-style-type: none"> ◇自由読書・・・自由に選んだ図書 (フィクション・ノンフィクションを問わない) ◇課題読書 <ul style="list-style-type: none"> 「ルラルさんのだいくしごと」 (ポプラ社) 「きみ、なにがすき？」 (あかね書房) 「なずずこのっぺ？」 (ルレーベル館) 「がっこうだって ときどきしてる」 (WAVE出版) ●小学校中学年の部(3、4年生)1,100～1,200字 <ul style="list-style-type: none"> ◇自由読書・・・自由に選んだ図書 ◇課題読書 <ul style="list-style-type: none"> 「レイナが島にやってきた！」 (理論社) 「森のおくから：むかしカナダであったほんとうのはなし」 (ゴブリン書房) 「最後のオオカミ」 (文研出版) 「すごいね！みんなの通学路」 (西村出版) ●小学校高学年の部(5、6年生)1,100～1,200字以内 <ul style="list-style-type: none"> ◇自由読書・・・自由に選んだ図書 ◇課題読書 <ul style="list-style-type: none"> 「奮闘するたすく」 (講談社) 「こんぴら狗(いぬ)」 (くもん出版) 「ぼくとベルさん：友だちは発明王」 (PHP研究所) 「クニマスは生きていた！」 (汐文社) ●本人の自筆とする。 ●句読点はそれぞれ1字に数えます。改行のための空白か所は、字数として数えます。 ●題名、学校名、氏名は字数に数えません。(欄外に書く) ●著者名、書名、発行所は原稿末尾に記入する。(欄外も可) 	
	富士てがみまつり 『手紙作文コンクール』 (富士てがみまつり 実行委員会)	手紙文を書くことで文章表現力を高め、郷土を愛する心を育む	<p>全学年 テーマ 低学年「ぼく、わたしの思い出」 高学年「平成の思い出 そして 新たな未来へ」</p> <p>家族と共に歩んだ日々、友達と味わった感動体験など、宝物のような思い出がよみがってくるでしょう。自分の大切な思い出をふりかえることで、未来への希望を描き、大切な思い出や未来への思いをかぐや姫さんに届けます。伝えたい思いを手紙に書いてください。 題名をつける。 1・2年150字程度 3・4年200字程度 5・6年300字程度 手紙文にふさわしい文頭「拝啓 かぐや姫さん お元気ですか」・文末「いつまでも お元気で さようなら」などのあいさつを書く。 題名を付ける。 応募原稿用紙は、昇降口正面(夏休みは玄関)にあります。</p>	
	JA共済 書道コンクール (静岡県農業協同組合)	書写に親しみ、表現力の向上を図る	<p>半紙の部 1年「むぎ」 2年「えほん」 3年「おりがみ」 4年「太陽」 5年「晴れた空」 6年「出発の朝」</p> <p>条幅の部 1年「まつり」 2年「たんぼ」 3年「思いやり」 4年「実りの秋」 5年「希望の光」 6年「自然の恵み」</p> <p>楷書「○年 氏名」左側に記入 1・2年生の学年・氏名は「ひらがな」「漢字」「漢数字」いずれでも可 3年生以上は、学年は「漢数字」氏名は「漢字」アラビア数字は使用しない。</p>	○

部門	応募名	テーマ	内容や注意することなど	参加賞
国語	税に関する習字コンクール (富士納税貯蓄組合 連合会)	税に興味を持ち、将来進んで納税しようとする	6年生のみ 課題「税の役割」 半紙 たて書き 楷書 作品左側に(〇〇小 六年 氏名)を記入	○
	人権書道コンテスト (富士市人権擁護委員 協議会)	人権をテーマとした書道 作品を書くことを通して、 豊かな人権感覚を身につける	3年生以上 毛筆で半紙に縦書き 書体は自由 学年と氏名は入れる 「思いやり」「助けあい」「ともだち」「しんせつ」「なかよし」「人権」「自由」「未来」「平和」「友情」「親切」「希望」	○
	下水道いろいろコンクール (富士市役所 上下水道営業課)	9月10日の下水道の日に ちなみ、下水道に対する 理解を深め、下水道の健 全な発達に役立てる	作文 原稿は自筆(ワープロは不可) 作品には、タイトル・学校名・学年・氏名を明記 1～3年生 400字詰め原稿用紙3枚以内 4～6年生 400字詰め原稿用紙4枚以内 標語 特に制限なし 縦15cm×横10cmの用紙に 1人1点を明記(1人何枚でも応募可) 作品には、学校名・学年・氏名(フリガナ)を明記 書道 半紙縦使用 作品の左端に学年・氏名を墨書き (学校名不要) 1～3年生 「下水どう」(2行書き) 4～6年生 「下水道の役割」(2行書き)	○

部門	応募名	テーマ	内容や注意することなど	参加賞
図画工作	JA共済 交通安全 ポスターコンクール (静岡県農業協同組合)	交通安全に対する意識の向上を図る	全学年:「歩行者または運転者向けのポスター」 校内選考あり 注意事項: 交通ルール上正しい表現をする (例:シートベルト、チャイルドシート、ヘルメットの正しい着用・歩行者右側通行・信号機の色配列など注意) 四つ切サイズ・画材制限なし 作品の裏に学校名・学年・氏名(ふりがな)	○
	愛鳥週間ポスター (静岡県環境局 自然保護課)	野鳥保護思想の高揚を図る	全学年: 校内選考あり 四つ切りサイズ 画材は水彩絵の具・クレヨン・クレパスなど自由 パソコンでの作品不可 注意事項: 四つ切サイズまたはB3判を縦に使用 「愛鳥週間」「BIRD WEEK(小文字も可)」「バードウィーク」の文字を入れること 裏面に学校名・学年・氏名(ふりがな)を明記 (応募票あり)	
	下水道いろいろコンクール (富士市役所 上下水道営業課)	下水道に対する興味を持ち、理解を深め、下水道の健全な発達に役立つ。	全学年: 「日常生活の中で下水道に関する事柄について自由に表現する」 B4～A2判以内 画材の指定なし 注意事項: 作品裏面に、学校名・学年・氏名(ふりがな)を明記 ポスターには「9月10日下水道の日」の文字を入れない	○
	地球温暖化防止ポスター (富士市環境部 環境総務課)	地球温暖化防止を啓発する	4・5・6年生 注意事項: 地球温暖化防止に関する標語(言葉は自由)を必ず書く。 四つ切サイズを縦に使用 描画材料は絵の具・ポスターカラー 裏面に学校名・学年・氏名(ふりがな)を明記 (応募票あり)	○
	①ごみ減量 ポスターコンクール ②ポイ捨て禁止 ポスターコンクール (富士市環境部 廃棄物対策課)	ごみ減量・発生抑制とリサイクルの推進	①ごみ減量ポスター部門: 4・5・6年生 注意事項: ごみ減量およびリサイクルに関する文字を入れる ・四つ切りサイズを縦に使う 画材の指定はなし ※裏面に学校名・学年・氏名(ふりがな)・性別を明記 ②ポイ捨て禁止ポスター部門: 1・2・3年生 注意事項: ポイ捨て禁止に関する文字を必ず入れる ・四つ切りを縦に使う 画材の指定はなし ※裏面に学校名・学年・氏名(ふりがな)・性別を明記	○
	MOA児童作品展(絵画) (MOA美術館)	子供の豊かな感性、のびのびとした表現を奨励する	全学年: テーマ自由 四つ切サイズまたはB3 水彩絵の具・パステル・カラーペン・クレヨン(鉛筆・色鉛筆は不可) 絵と書写両方への応募不可 ポスター、工作に近い作品、破損しやすい作品は不可 裏面右下に学校名・学年・氏名(ふりがな)、作品名を明記 (応募票あり)	○
	(読書感想画コンクール)		以前学校でプリントを配布しましたが、学校では募集しません。応募する場合は、個人での応募をお願いします。	

部門	応募名	テーマ	内容や注意することなど	参加賞
算数	統計グラフ (静岡県教育研究会)	日常生活の体験や事象を統計的に表現する技能を育て、統計の正しい見方や考え方の普及向上を図る	B2判(72.8cm×51.5cm)の画用紙またはケント紙 1枚 希望者には配布(先着順) 題材は自由 4年生以下は子どもが自ら観察または調査した結果をグラフにする裏面の板張り(パネル仕上げ)や表面のセロハンカバー、2枚以上にわたるシリーズものは不可 観察・調査の記録または取材資料はA4判の用紙に記載 なお、取材資料が3枚以上になる場合は封筒に入れても可 詳細は学校へ問い合わせください。	
	発明くふう (富士市発明くふう展 実行委員会)	産業発展の原動力となる発明くふうに対する関心を高める	身の周りの不便さを何とか便利にしようと考えたもの 廃物を有効に活用したものなど。 実物またはその模型。 作品票を添付。(作品票は夏休み前にもらい記入してもよい、夏休み後の作品提出時にもらって記入してもよい。)	
理科	科学作品 (静岡県教育研究会)	観察や実験を通し、科学に対する興味・関心を高める。	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">実験の題名 学校名 学年 氏名</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 はじめに(実験の動機) ・なぜ、この観察や実験をしようと思いついたのか、詳しく書く。 2 実験の目的 ・実験を通して、追求することを明確にする。 3 実験の方法 ・実験や観察では、何を実験・観察するのか、調べるものをはっきりさせる。 ・仮説を立て、どのような実験をしたら仮説が正しいと考えられるか、工夫する。 ・実験方法を箇条書きで詳しく書く。図や写真を用いることも効果的。 4 実験結果 ・実験した結果を表や図、グラフ、写真などで表す。 5 わかったこと(実験の考察) ・観察や実験を通して、どういことが分かったのかを項目別を書く。 ・仮説が間違っていたときは、追加の実験を試みる。 6 反省・今後の課題・感想 ・この実験を通して感じたことや感想を書く。また、これからさらに調べていきたいことを書く。 </div>	
	親子クッキングコンテスト (静岡県ガス協会)	親子で料理を作って、食の大切さを知る。	学校で配布された用紙を使って、親子でクッキングをした様子をまとめる。材料や作り方はどんなものでもよい。 5・6年生は全員。	○

※この配布物(夏休みの作品応募の用紙)は、本校のホームページにも載っています。